



ビデオ会議システム CS-800 CS-500

OSD メニュー 操作ガイド

目次

OSD メニューとは	3
OSD メニューの使用条件	3
OSD メニューでできること	3
OSD メニューの表示と終了方法	4
本体を起動する	4
OSD メニューの表示	5
OSD メニューの終了	5
OSD メニューの操作方法	6
OSD メニュー画面	6
リモコンで操作する	7
ミーティングエリア設定	8
スマートフレーミングモード設定	9
カメラプリセット	10
マイク設定	11
スピーカー設定	12
Bluetooth 設定	13
Bluetooth 接続の方法	14
通知バッジ一覧	16

OSDメニューとは

OSD (On-Screen Display) メニューは、テレビの画面上に表示して CS-800 および CS-500 の設定を行う画面です。リモコンから操作できます。

OSDメニューの使用条件

以下の条件が揃っている場合に OSD メニューを使用できます。

- テレビと本体が HDMI ケーブルで接続されていること
- 本体の HDMI 接続機能を有効にしていること
- リモコンと本体をペアリングしていること

本体の接続方法・設定方法は、各製品の「ユーザーガイド」をご参照ください。

OSDメニューでできること

✓ ミーティングエリア設定

人を認識するカメラフレーム領域の設定をします。この設定は、カメラの「スマートフレーミング」とマイクの「フェイスフォーカスビームフォーミング」に使用されます。(8 ページ)

✓ スマートフレーミングモード設定

ライブレビュー画面を確認しながら、スマートフレーミング機能のモードを選択します。モードに応じて自動的に画角を調整し、フレームに収めることができます。(9 ページ)

✓ カメラプリセット設定 (2 パターンまで)

ライブレビュー画面を確認しながら、カメラの PTZ (パン・チルト・ズーム) の値を調整し、プリセットに登録します。(10 ページ)

✓ マイク設定

カメラで検出した顔の位置から参加者の音声のみを收音する「フェイスフォーカスビームフォーミング」のオン/オフと、ノイズ除去機能のオン/オフを設定します。(11 ページ)

✓ スピーカー設定

スピーカーの自動音量調整機能のオン/オフを設定します。(12 ページ)

✓ Bluetooth 接続

本体とスマートデバイスを Bluetooth 接続します。スマートデバイスを Bluetooth 接続することで、本体を使用して、外出中の人と音声でリモート会議ができます。(13 ページ)

❶ お知らせ

スマートフレーミングとカメラプリセットは同時に適用できません。

OSDメニューの表示と終了方法

本体を起動する


本体が起動すると、テレビに待機画面が表示されます。

本体と PC を USB ケーブルで接続している場合は、テレビに PC の画面が表示されます。



本体の起動方法

本製品は、本体のカメラが人物を検知すると、自動的に起動します。

以下の場合は、自動的に起動しません。リモコンの  (電源) ボタンを押す、または PC と本体を USB ケーブルで接続することで起動します。

- 本体の[auto wake up] (オートウェイクアップ機能) が無効になっているとき
- [power saving mode]により、本体が省電力待機状態のとき
- [auto wake up] [power saving mode]は、ヤマハ CS マネージャーの Admin 設定で設定します。

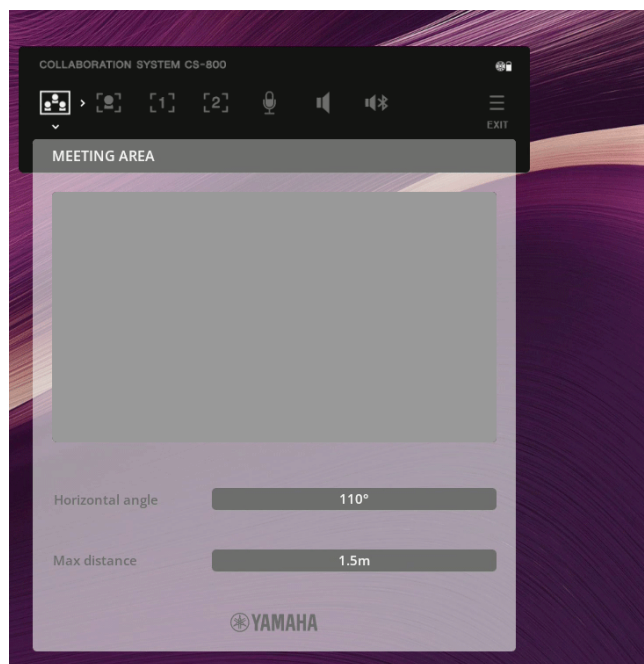
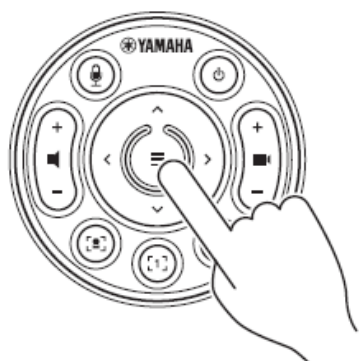
❶ お知らせ

待機画面の変更・オートウェイクアップ機能の有効化をしたい場合

待機画面・オートウェイクアップ機能は、ユーティリティソフト「ヤマハ CS マネージャー」で設定できます。詳しくは「ヤマハ CS マネージャー ユーザーガイド」をご参照ください。

OSDメニューの表示

リモコンの ≡ (メニュー) ボタンを押すと、テレビに OSD メニューが表示されます。



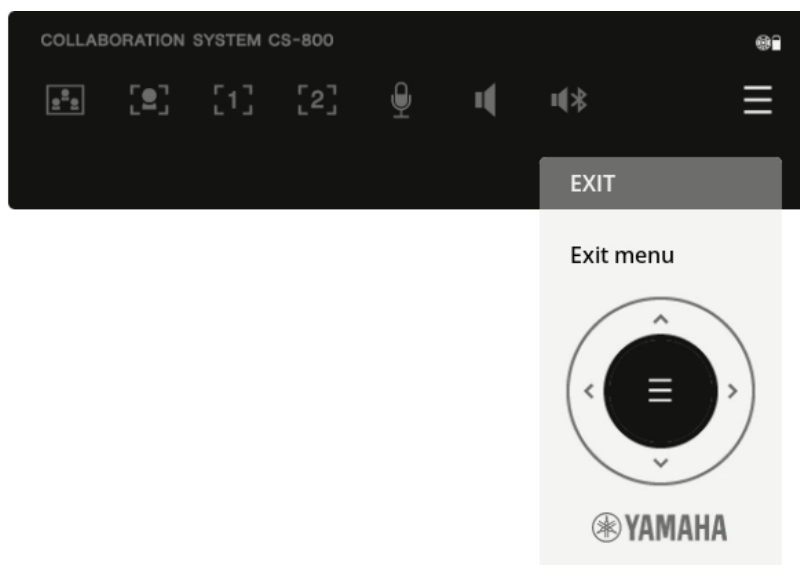
リモコンの ≡ (メニュー) ボタンを押します。

✓ テレビの左上に OSD メニューが表示されます。

OSDメニューの終了

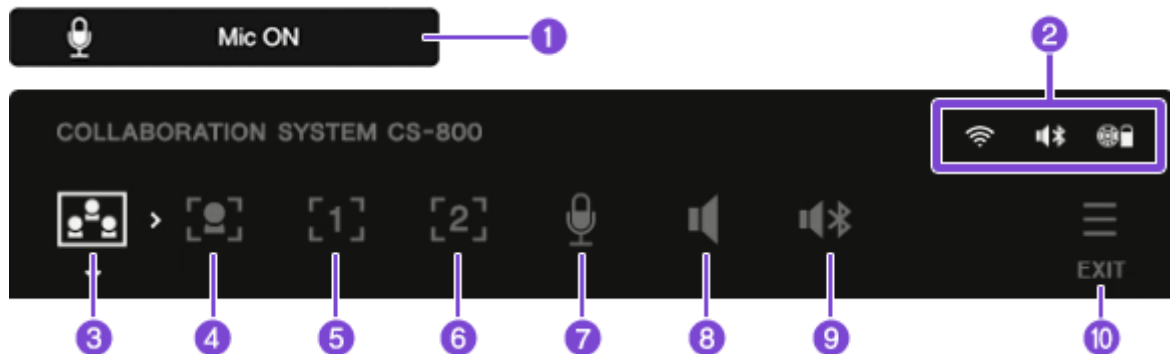
リモコンの ≡ (メニュー) ボタンを押して、OSD メニューを閉じます。
操作エリアにカーソルがある場合は、≡ (メニュー) ボタンを 2 回押します。
その場合、1 回目で終了画面が開き、2 回目で OSD メニューが終了します。

≡ [Exit] 終了画面



OSDメニューの操作方法

OSDメニュー画面



① 通知バッジ

操作をした結果の通知を 4 秒間表示します。

> [通知バッジ一覧：16 ページ](#)

通知バッジは、OSD メニューを表示していないときにも表示されます。

② ステータス情報



Wi-Fi 接続状態（Wi-Fi 未接続時は非表示）



Bluetooth 接続状態（Bluetooth 未接続時は非表示）



リモコンの接続状況と電池残量（リモコン未接続時は非表示）

操作メニュー

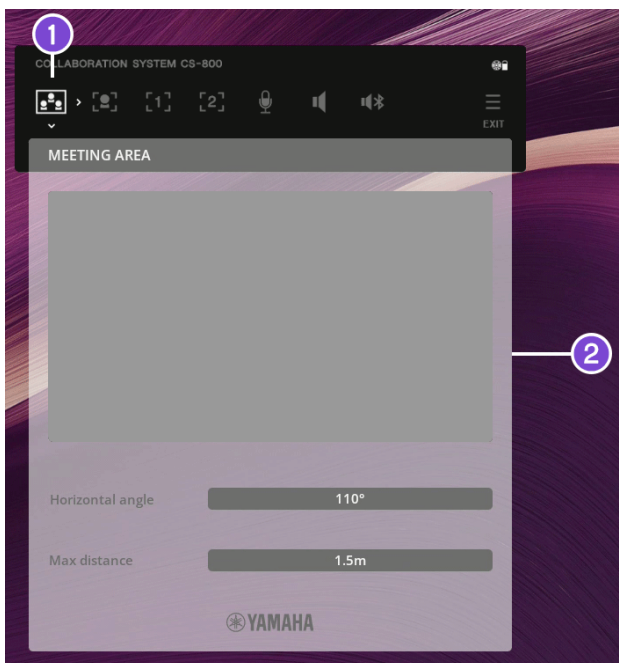
- ③ [MEETING AREA] ミーティングエリア設定（8 ページ）
- ④ [SMART FRAMING] スマートフレーミング設定（9 ページ）
- ⑤ [CAMERA PRESET 1] カメラ PTZ プリセット 1（10 ページ）
- ⑥ [CAMERA PRESET 2] カメラ PTZ プリセット 2（10 ページ）
- ⑦ [MIC] マイク設定（11 ページ）
- ⑧ [SPEAKER] スピーカー設定（12 ページ）
- ⑨ [Bluetooth] Bluetooth 設定（13 ページ）
- ⑩ [Exit] OSD メニューの終了（5 ページ）

リモコンで操作する

リモコンのパン／チルトボタンを矢印ボタンとして使用します。

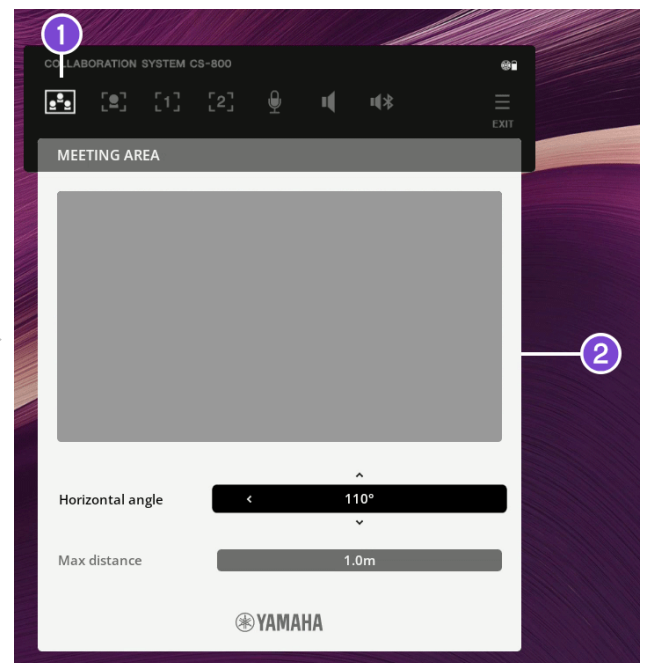


1. 左右の矢印ボタンでメニューを選択し、下ボタンで選択したメニューの操作エリアに移動します。



左右ボタンでメニューを選択する

① のメニューアイコンに矢印が表示されているときは、メニュー選択状態です。このとき、② の操作エリアは透過されています。



下ボタンで各メニューの操作エリアに移動する

② の操作エリアにカーソルを移動すると、背景が不透過になり、各選択項目に矢印が表示されます。左右上下の矢印ボタンで、項目を移動・選択します。

2. メニュー選択に戻る場合は、操作エリア内で 三 (メニュー) ボタンを押します。
上ボタンでカーソルを移動して戻ることも可能です。

お知らせ

OSD メニューを表示中、リモコンは OSD メニューの操作用に切り換わります。

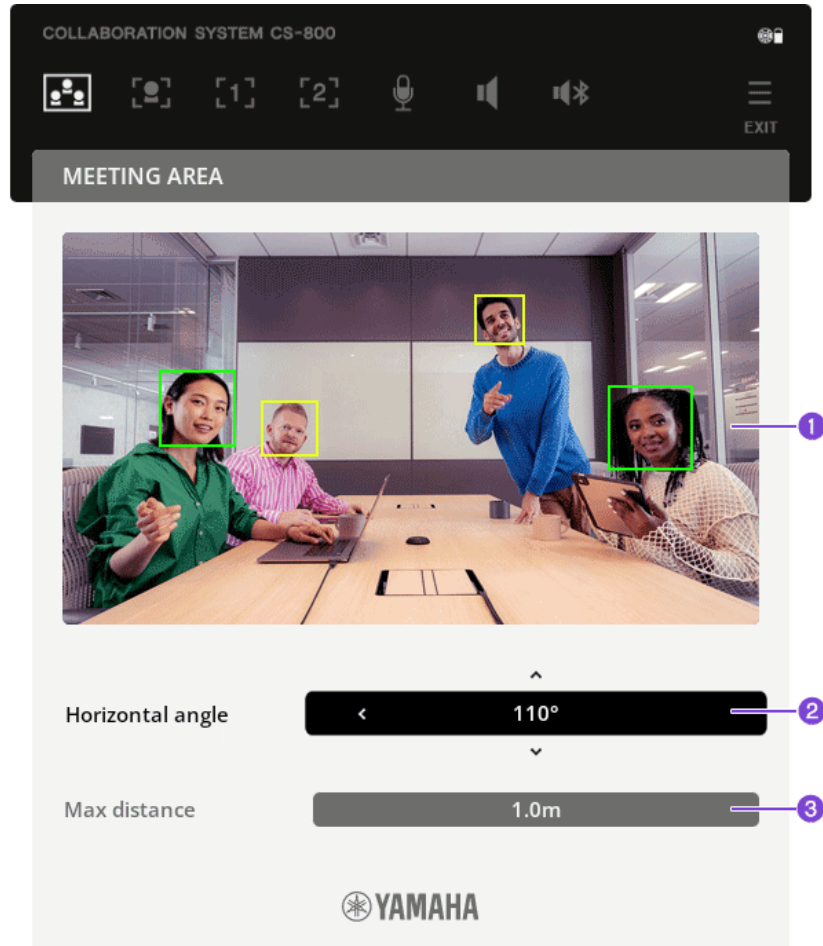
※ (ミュート) ボタンと (ボリューム) ボタンのみ使用可能。

通常のリモコン操作をする場合は、リモコンの 三 (メニュー) ボタンを押して OSD メニューを終了してください。

ミーティングエリア設定

ミーティングエリア設定では、人を認識するカメラフレーム領域の設定をします。この設定は、カメラの「スマートフレーミング」とマイクの「フェイスフォーカスビームフォーミング」に使用されます。

[MEETING AREA] ミーティングエリア設定画面



① ライブプレビュー画面を確認する

- 緑色の囲み：顔が検出されていることを意味します
- 黄色の囲み：顔がカメラに十分に近づいていないことを意味します

ライブプレビュー画面を確認しながら、なるべく多くの参加者が緑色の囲みになるように ② と ③ を調整します。

② **Horizontal angle** ミーティングエリアの水平方向の対象エリアを設定します。(20～110°)

③ **Max distance** ミーティングエリアの対象を何 m 先までにするかを設定します。(1.0～4.5 m) ※

※ マイク設定の[Face Focus Beamforming]が[ON]の場合、最大距離は 3 m になります。(11 ページ)

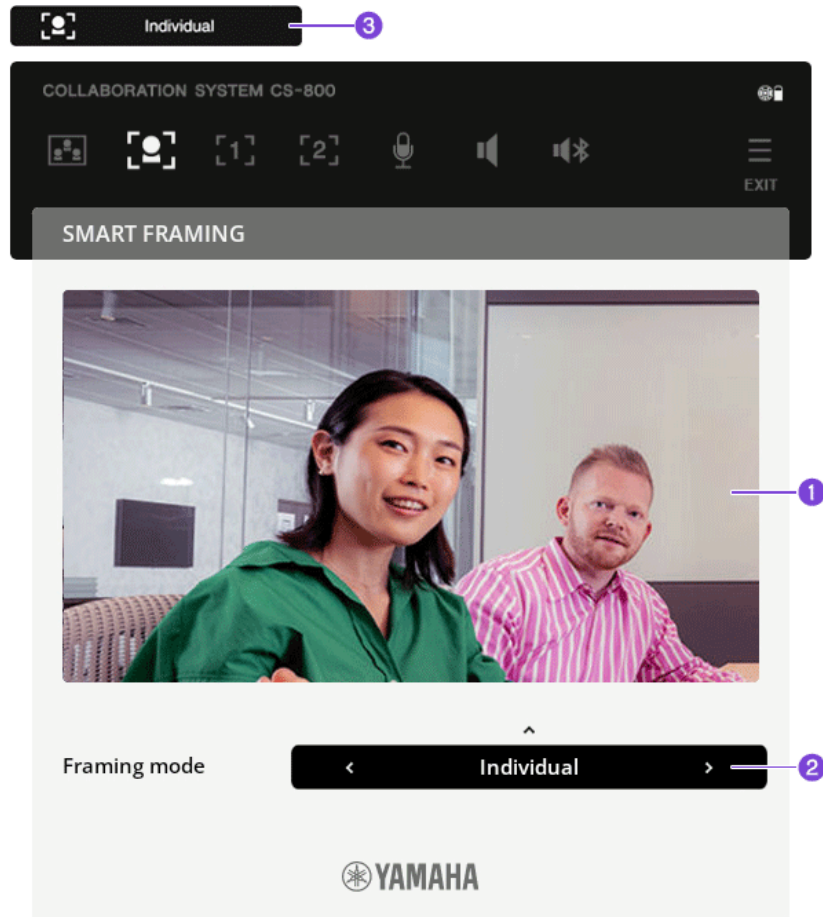
関連リンク

- > スマートフレーミングモード設定 (9 ページ)
- > マイク設定 (11 ページ)

スマートフレーミングモード設定

スマートフレーミングは、モードに応じて被写体を追従する機能です。カメラで検出した顔の位置から自動的に画角を調整しフレームに収めます。本画面では、カメラのライブプレビュー画面を見ながらスマートフレーミングのモードを選択できます。

[SMART FRAMING] スマートフレーミングモード設定画面



① ライブプレビュー画面を確認する

② [Framing mode] スマートフレーミングモードを選択する

[Individual]	特定の人をフレームに収めるモード
[Speaker tracking]	話している人をフレームに収めるモード
[Group]	映っている人全員をフレームに収めるモード（ズームは無効になります）

※ 対象エリアは、ミーティングエリア設定で設定します。（8 ページ）

✓ 選択したモードが ③ 通知バッジに表示されます。

① お知らせ

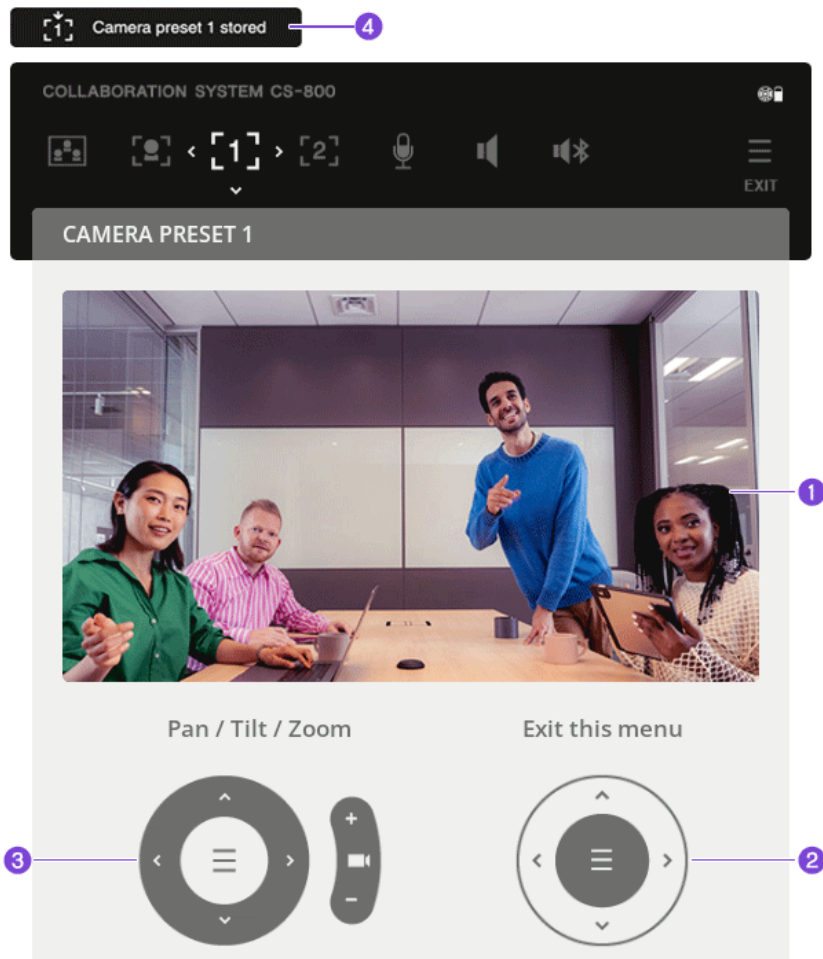
- スマートフレーミング機能がオフになっている場合、リモコンでオンにする必要があります。リモコンの **≡** (メニュー) ボタンを押して OSD メニューを終了し、**[👤]** (スマートフレーミング) ボタンを押してください。
- カメラプリセットを呼び出すと、スマートフレーミング機能はオフになります。（10 ページ）

カメラプリセット

ライブプレビュー画面を確認しながら、カメラの PTZ（パン・チルト・ズーム）の値を調整し、プリセットに登録します。[CAMERA PRESET 1] [CAMERA PRESET 2]にそれぞれ登録することで、2つまで登録できます。

登録したプリセットは、リモコンの [1] [2] (カメラプリセット) ボタンで呼び出します。

[1] [2] [CAMERA PRESET 1] [CAMERA PRESET 2] カメラプリセット 1、2 登録画面



[CAMERA PRESET 1]もしくは[CAMERA PRESET 2]の画面を開くと、リモコンが PTZ 設定ボタンに切り換わります。ライブプレビュー画面で確認しながら、リモコンで PTZ を調整します。

① ライブプレビュー画面を確認する

② [Pan/Tilt/Zoom] PTZ を調整する

リモコンのパン・チルトボタン（矢印ボタン）でカメラの向きを調整し、**■**（ズーム）ボタンで範囲を調整します。

- 短押し: パン・チルト・ズームを 1 ずつ変更します
- 長押し: 押し続けている間、パン・チルト・ズームを変更し続けます

③ [Exit this menu] 設定を確定する

調整が完了したら、リモコンの **≡** (メニュー) ボタンで設定を確定します。

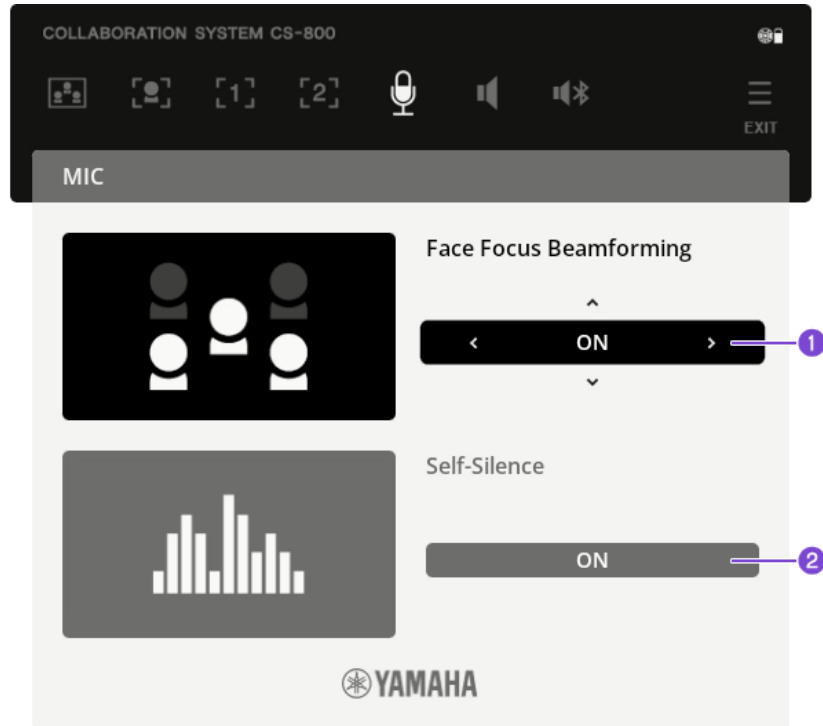
- ✓ 登録が完了すると、④ 通知バッジが 4 秒間表示されます。
- ✓ 本画面は終了し、カーソルがメニューアイコンに移動します。

マイク設定

マイク設定では、カメラで検出した顔の位置から参加者の音声のみを收音する「フェイスフォーカスビームフォーミング」のオン/オフと、ノイズ除去機能のオン/オフを設定します。



[MIC]マイク設定画面



1 Face Focus Beamforming



ON



OFF

「フェイスフォーカスビームフォーミング」のオン/オフを設定します。オンにすると、カメラで検出した顔の位置から、参加者の音声のみを收音します。※

オンにした場合：

参加者を検出するため、レンズキャップを外してください

対象エリアは、ミーティングエリア設定で設定します（8ページ）

2 Self-Silence



ON



OFF

マイクのノイズ除去機能のオン/オフを設定します。オンにすると、人の声とノイズを自動的に検出し、人の声以外の音を低減します。

※ 本機能は本体からの距離が3 m 以下の場合に適用できます。ミーティングエリア設定の[Max distance]が、3.5 m 以上の場合、オンに設定できません。（8ページ）

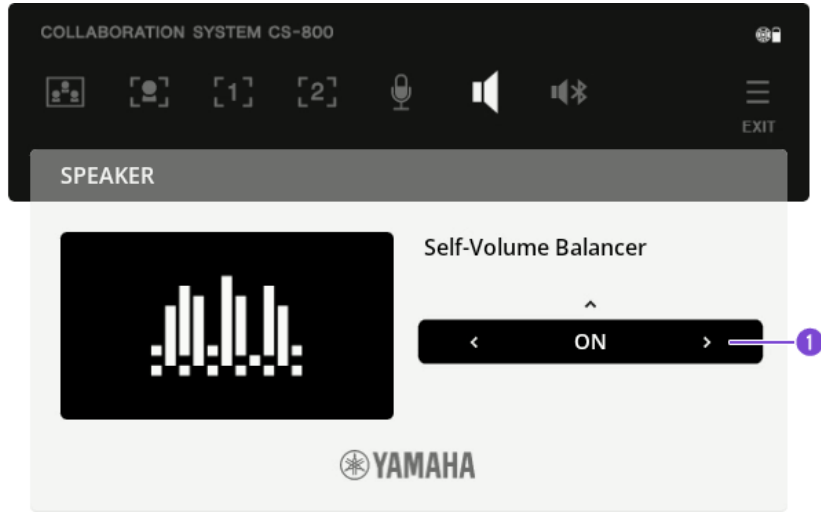
🔗 関連リンク

➤ [ミーティングエリア設定（8ページ）](#)

スピーカー設定

スピーカー設定では、スピーカーの自動音量調整機能のオン／オフを設定します。

🔊 [SPEAKER] スピーカー設定画面



1 Self-Volume Balancer



自動音量調整機能のオン／オフを設定します。オンにすると、周囲の環境に合わせてスピーカーの音量を自動調整します。

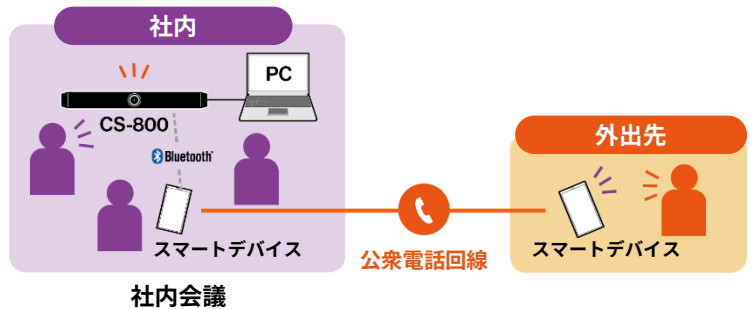
Bluetooth設定

本体とスマートデバイスを Bluetooth 接続します。スマートデバイスを Bluetooth 接続することで、本体を使用して、外出中の人と音声でリモート会議ができます。

✓ 外出中の人と電話会議を行う

社内会議を行うとき、本体を通して外出中の人（スマートデバイスを持った人）と電話会議ができます。

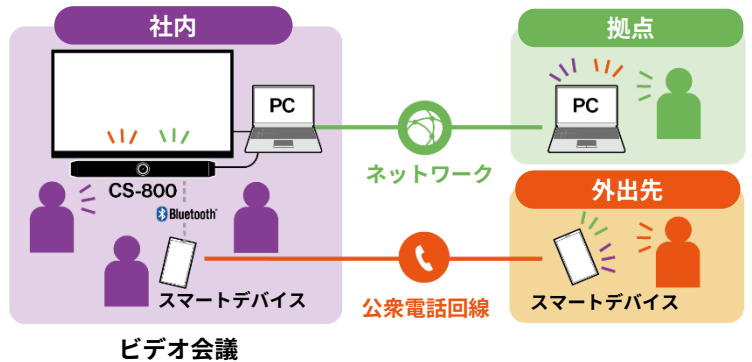
Bluetooth 接続したスマートデバイスから、外出中の人のスマートデバイスに電話してください。



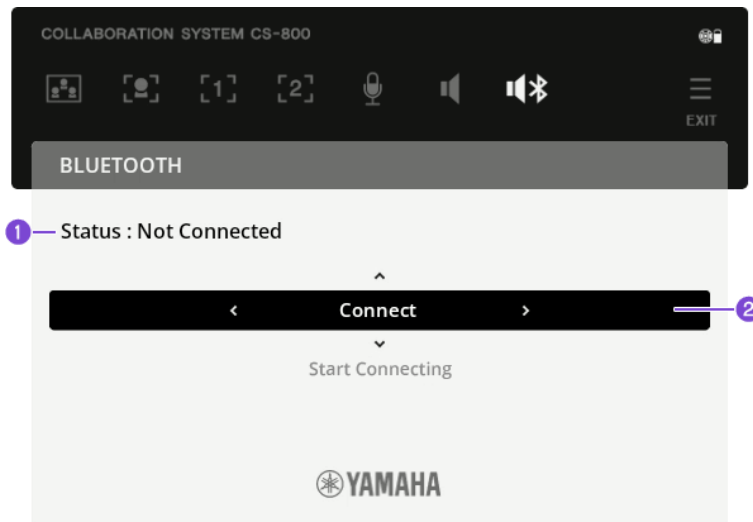
✓ 外出中の人にビデオ会議に参加してもらう

本体を使用してビデオ会議を行いながら、外出中の人にスマートデバイスから音声のみ会議に参加してもらうことができます。外出中の方は、ビデオ会議に参加しているすべての相手（リモート参加している拠点の相手を含む）と会話が可能です。

Bluetooth 接続したスマートデバイスから、外出中の人のスマートデバイスに電話してください。



🔊 [BLUETOOTH] Bluetooth 設定画面



- ① **Status** Bluetooth 接続の状態が表示されます。
- [Not connected]** Bluetooth 接続されていない状態
 - [Ready to Pair…]** ペ어링モード
 - [Ready to Connect…]** ペ어링したスマートデバイスと Bluetooth 接続が可能な状態
 - [Connected to <Bluetooth 接続したスマートデバイス名>]** Bluetooth 接続されている状態
 - [Disabled]** Bluetooth が無効になっている状態

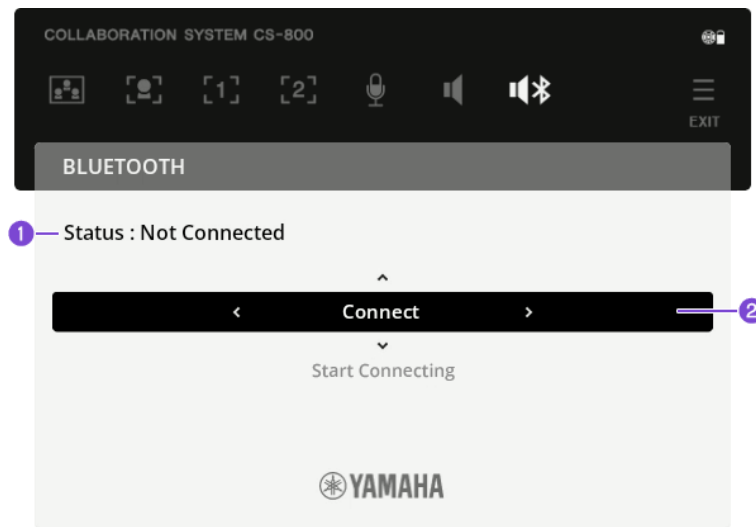
- ② リモコンの矢印ボタンでカーソルを移動して操作を決定します。

Bluetooth 接続の方法

はじめて接続する場合：ペアリングする

はじめて本体と Bluetooth 対応のスマートデバイスを接続する場合は、機器同士のペアリングが必要です。

画面：Bluetooth 接続されていない状態



① 準備：本体とスマートデバイスの Bluetooth を有効化する

1. 本体の Bluetooth を有効化する

① [Status]が[Disabled]の場合は、本体の Bluetooth が無効となっています。Bluetooth を有効にしてください。詳しくは「ヤマハ CS マネージャー 操作ガイド」の Bluetooth 設定をご参照ください。

2. スマートデバイスの Bluetooth をオンにする

② ペアリング：ペアリングする

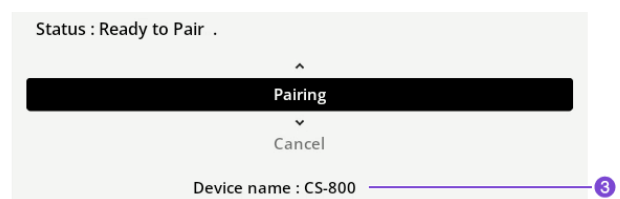
1. リモコンの > ボタンを押す

② [Pairing]が選択されます。



2. リモコンの v ボタンを押す

ペアリングモードになります。
スマートデバイスに ③ [Device name]が表示されます。

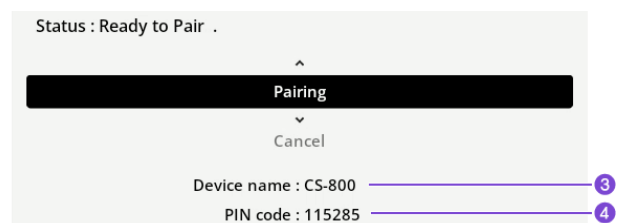


3. スマートデバイスの Bluetooth 接続画面で

③ [Device name]のデバイスに接続する

OSD メニューに ④ [PIN code] (6桁の数字)が表示されます。

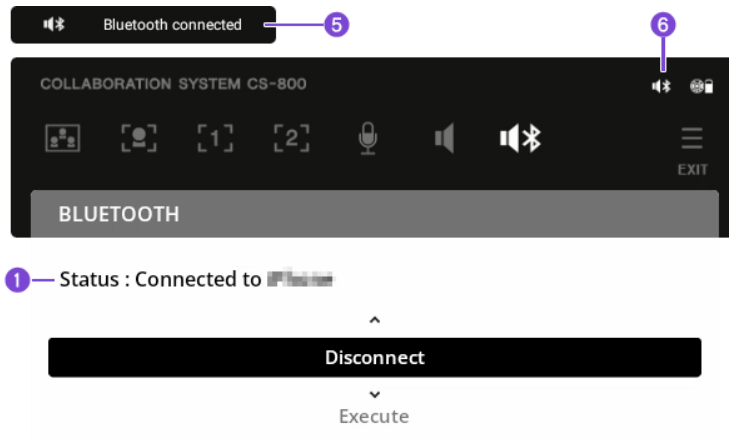
※ ペアリングモードに入って2分以上経つと、ペアリングがキャンセルされます。



4. スマートデバイスでペアリングリクエストを承認する

④ [PIN code] (6桁の数字) とスマートデバイスに表示されているコードが同じことを確認し、ペアリングを承認します。

- ✓ Bluetooth 接続が完了すると、⑤ [Bluetooth connected] の通知バッジが 4 秒間表示されます。
- ✓ ① [Status] に [Connected to <Bluetooth 接続したスマートデバイス名>] が表示されます。
- ✓ ⑥ Bluetooth 接続アイコンが表示されます。

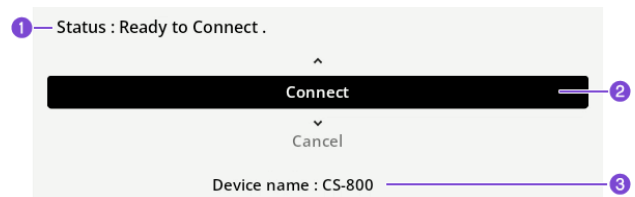


2 回目以降の接続の場合：Bluetooth 接続する

ペアリング済みのスマートデバイスは、OSD メニューもしくはスマートデバイスから接続できます。

OSD メニューから接続する場合：

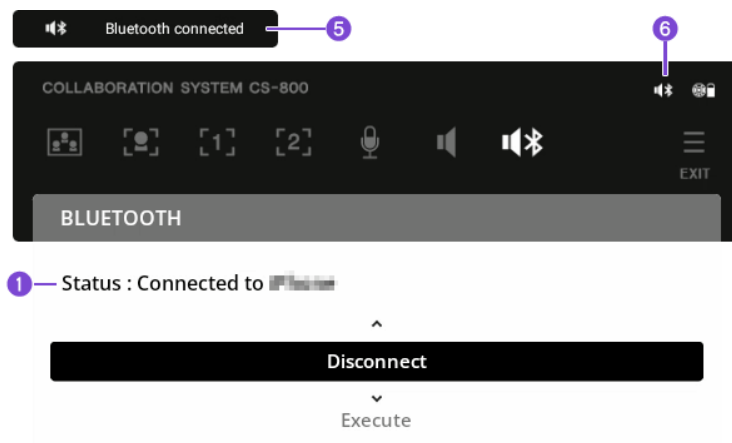
リモコンの \checkmark ボタンを押します。



スマートデバイスから接続する場合：


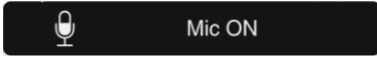
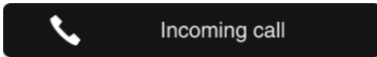




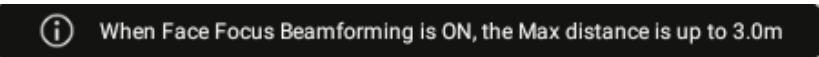

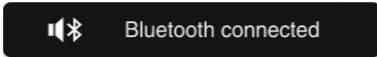
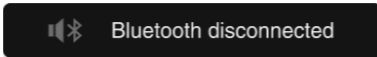

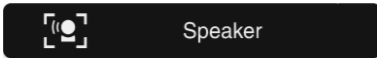
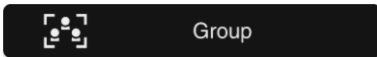


スマートデバイスで ③ [Device name] のデバイスに接続します。

- ✓ Bluetooth 接続が完了すると、⑤ [Bluetooth connected] の通知バッジが 4 秒間表示されます。
- ✓ ① [Status] に [Connected to <Bluetooth 接続したスマートデバイス名>] が表示されます。
- ✓ ⑥ Bluetooth 接続アイコンが表示されます。



通知バッジ一覧

画面の左上、または OSD メニューの上に表示される「通知バッジ」(6 ページ)の一覧です。

カテゴリー	通知バッジ	通知内容
マイク	 Mic mute	マイクがミュートの状態
	 Mic ON	マイクがオンの状態
通話	 Incoming call	電話の着信状態
	 Call ended	通話終了
アラート	 Device is in use	USB 接続中、Bluetooth 経由の音楽を再生中、または Bluetooth 経由の通話中にリモコンの  (電源) ボタンを押した → 電源をオフにする場合は、上記の操作を終了してから  (電源) ボタンを押してください。
	 When Face Focus Beamforming is ON, the Max distance is up to 3.0m	マイク設定の[Face Focus Beamforming]がオンのとき、ミーティング設定で[Max distance] (最大距離) を 3.0 m 以上にしようとした → [Face Focus Beamforming]が[ON]の場合、最大距離は 3 m になります。(8 ページ)
	 Turning ON Face Focus Beamforming requires Max distance of 3.0m or less	ミーティングエリア設定の[Max distance]が 3.5 m 以上のとき、マイク設定で[Face Focus Beamforming]をオンに変更しようとした → [Face Focus Beamforming]は、本体からの距離が 3 m 以下の場合に適用できます。ミーティングエリア設定の[Max distance]が、3.5 m 以上の場合、オンに設定できません。(11 ページ)
Bluetooth ▶ Bluetooth 設定 : 13 ページ	 Bluetooth connected	Bluetooth デバイスが接続された
	 Bluetooth disconnected	Bluetooth デバイスが切断された
スマートフレーミング ▶ スマートフレーミングモード設定 : 9 ページ	 Individual	スマートフレーミングモードを[Individual]に設定
	 Speaker	スマートフレーミングモードを[Speaker tracking]に設定
	 Group	スマートフレーミングモードを[Group]に設定
	 Smart framing ON	スマートフレーミングモードが[Individual]のとき、スマートフレーミングがオンに変更された
	 Smart framing ON	スマートフレーミングモードが[Speaker tracking]のとき、スマートフレーミングがオンに変更された

	 Smart framing ON	スマートフレーミングモードが[Group]のとき、スマートフレーミングがオンに変更された
	 Smart framing OFF	スマートフレーミングモードが[Individual]のとき、スマートフレーミングがオフに変更された
	 Smart framing OFF	スマートフレーミングモードが[Speaker tracking]のとき、スマートフレーミングがオフに変更された
	 Smart framing OFF	スマートフレーミングモードが[Group]のとき、スマートフレーミングがオフに変更された
	 Auto-zoom is working	スマートフレーミングがオンで、[Group]モードのときに、リモコンの  (ズーム) ボタンが押された → [Group]モードのときは、ズームが無効となります。
カメラプリセット ▶ カメラプリセット：10ページ	 Camera preset 1	[Camera Preset 1]を呼び出した
	 Camera preset 2	[Camera Preset 2]を呼び出した
	 Camera preset 1 stored	[Camera Preset 1]を登録
	 Camera preset 2 stored	[Camera Preset 2]を登録
リモコン	 Connected	リモコン接続状態
	 Not connected	リモコンが接続されていない状態 → リモコンのペアリングをしてください。ペアリング方法は、製品の「ユーザーガイド」を参照ください。
Wi-Fi 接続	 Wi-Fi connected	Wi-Fi を接続した
	 Wi-Fi disconnected	Wi-Fi が切断された
リモコン切れ通知	 Battery low	リモコンの電池が消耗している状態 → 電池を交換してください。電池の交換方法は、製品の「ユーザーガイド」をご参照ください。

